

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

担当課:道路局 環境安全・防災課

担当課長名:伊藤 高

事業の概要

事業名	スマートICアクセス 市道スマートインター1号線	事業区分	地方道	事業主体	愛知県日進市
起終点	自:愛知県日進市米野木町南山 至:愛知県日進市米野木町南山	延長	0.4 km		

**事業概要**  
市道スマートインター1号線・2号線は、日進市の南東部に位置する(仮称)東郷スマートICのアクセス道路であり、スマートIC整備と併せて、延長0.6kmのアクセス道路を整備するものである。

**事業の目的、必要性**  
東郷PA周辺は物流関連企業や自動車関連企業など、企業が多数立地しているが、高速道路へのアクセス性が低い状況である。  
当該道路の整備は、(仮称)東郷スマートIC整備の一環であり、企業活動の活性化、観光振興、大規模災害への対応強化を目的とする事業である。

全体事業費 : 約 3.8億円 | 計画交通量 : 2,600 台/日



**関係する地方公共団体等の意見**  
周辺企業や商工会等から早期開通を要望されている。

**学識経験者等の第三者委員会の意見**  
市道スマートインター1号線他道路新設改良事業(事前評価)評価委員会において、新規事業化は妥当であると評価。

**事業採択の前提条件**  
便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用便益分析 (参考)	B/C	12.6	EIRR	52.5%	総費用	3.7 億円	総便益	47 億円	基準年	令和5年
		18.0 [2%]			事業費	3.0 億円	走行時間短縮便益	39 億円		
		21.7 [1%]			維持管理費	0.69 億円	走行経費減少便益	7.2 億円		
				感度分析		交通量変動	B/C= 12 ~ 14 (変動ケース:±10%)			
						事業費変動	B/C= 11 ~ 14 (変動ケース:±10%)			
						事業期間変動	B/C= 12 ~ 13 (変動ケース:±20%)			

事業の影響	評価項目	評価	根拠
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎
事故対策		-	注目すべき影響はない。
歩行空間		-	注目すべき影響はない。
社会全体への影響	住民生活	○	当該道路の整備により交通転換が図られ、周辺的生活道路の交通量が減少し、周辺環境の改善が期待される。
	地域経済	◎	高速道路へのアクセス時間の短縮により、物流の効率化に寄与する。 周辺企業が既存の東名三好ICから転換することで高速道路までのアクセス時間が短縮 日進研究開発団地から 整備前 12分 ⇒ 整備後 6分【平日約6分の時間短縮】 機織池工業団地から 整備前 20分 ⇒ 整備後 14分【平日約6分の時間短縮】
	災害	◎	東郷PA周辺は、大規模災害が発生した場合の復旧支援拠点(電力)や広域物資輸送拠点があり、第1次緊急輸送道路として位置づけられている東名高速道路と連結することにより、緊急輸送ネットワーク機能が強化される。
	環境	-	注目すべき影響はない。
	地域社会	○	東郷PA周辺は、観光施設が密集しており、観光客増加や観光施設までの時間短縮及びわかりやすさ向上が期待される。
事業実施環境		○	周辺企業や商工会等から早期開通を要望されている。

採択の理由

費用便益比が12.6と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、当該道路と(仮称)東郷スマートICとの一体的な整備により、周辺企業活動等の活性化、周辺観光地の振興促進、大規模災害への対応強化が図られるなど、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。  
以上により、本事業は令和6年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。  
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([ ]内は社会的割引率の値)